

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（令和4年度）

令和 5 年 〇〇 月 〇〇 日

高松市長 大 西 秀 人 殿

この報告書は、事業場ごとに作成してください。

宛先は、高松市長です。

トン単位で記入してください。その他の単位(mなど)の場合は、トンに換算してください。

高松市内分のみ報告が必要です。

報告者
住 所 〇〇市〇〇町〇〇〇番地

実績年度

氏 名 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇
(法人にあっては名称及び代表者の氏名)
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

日本標準産業分類のコードと中分類を記入してください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の5第1項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称		〇〇株式会社 〇〇工場				業 種	06 総合工事業		
事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇郡〇〇町〇〇〇〇番地				電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			
番号	産業廃棄物の種類	排出量 (t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者の 許可番号	運搬受託者の 氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 許可番号	処分受託者の 氏名又は名称	処分場所の住所
1	汚泥	〇〇	〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇運輸(株)	〇〇県〇〇市〇〇丁 〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇(株)	
2	廃プラスチック類	〇〇	〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	(有)〇〇〇運輸	〇〇県〇〇市〇〇丁 〇〇〇			
3					(株)△〇〇運輸	〇〇県△△市〇〇丁 〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	△〇〇(株)	
4	がれき類	〇〇	〇〇	—	自社運搬	〇〇県〇〇市〇〇丁 〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇△〇(株)	通常は記入不要

備考

- 積替えにより、運搬受託者が途中途中で変わる場合は、2行に分けて記入。その場合の運搬先は以下の通り。
- 上段：積替え保管場所の住所
- 下段：処分先の住所
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

許可番号は、契約書等で確認。

自ら運搬を行った場合は、「自社運搬」と記入

運搬先の住所は、収集運搬業者の所在地ではなく、廃棄物の運搬先を記入

通常は記入不要
(運搬先と同じ)
処分場所の住所が、運搬先の住所と異なる場合に記入してください。最終処分場の場所を記入する項目ではありません。

産業廃棄物の体積から重量への換算係数（参考値）

産業廃棄物の種類		換算係数
1	燃え殻	1.14
2	汚泥	1.10
3	廃油	0.90
4	廃酸	1.25
5	廃アルカリ	1.13
6	廃プラスチック	0.35
7	紙くず	0.30
8	木くず	0.55
9	繊維くず	0.12
10	食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物	1.00
11	とさつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理した食鳥に係る固形状の不要物	1.00
12	ゴムくず	0.52
13	金属くず	1.13
14	ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず	1.00
15	鉱さい	1.93
16	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物	1.48
17	動物のふん尿	1.00
18	動物の死体	1.00
19	ばいじん	1.26
20	産業廃棄物を処分するために処理したものであって、前各号に掲げる産業廃棄物に該当しないもの	1.00
21	建設混合廃棄物	0.26
22	廃電気機械器具	1.00
23	感染性産業廃棄物	0.30
24	廃石綿等	0.30

【註１】 上記の換算係数は１立方メートル当たりのトン数（ｔ／立米）。．

【註２】 この換算表はあくまでマクロ的な重量を把握するための参考値という位置付けであることに留意されたい。

【註３】 特別管理産業廃棄物のうち、感染性産業廃棄物及び廃石綿等以外については、それぞれ１-１９に該当する品目の換算係数に準拠。

【註４】 「２ｔ車１台」といったような場合には、積載した廃棄物の体積を推計し、それに上記換算係数を掛けることによりトン数を計算する方法がある。